

■（１２２）ネット解禁で変わるか選挙スタイル

インターネットを使った選挙活動の解禁を国会が決めた。電子メールの転送禁止など、有権者にはまだ制約が残るものの、選挙カーからの名前の連呼や新聞形式の選挙公報、短時間の政見放送など伝統的なスタイルが、７月の参院選から少しは変わりそうだ。

日本の選挙は、さまざまな制約が課されている。戸別訪問は戦前から禁止。全候補者の立会演説会は、やじによる妨害がひどいとして３０年前に廃止された。選挙管理委員会が認めるビラやちらし以外は配ることができない。「報道・論評の自由」を認められている新聞も、基本的には中立・公正な姿勢を保つように気配りしている。そのため、特定の記事が選挙で悪用されると、厳しく対処することになる。自らを宣伝したりライバルをけなしたりするためにビラに記事を転載した候補がいたら、必ず抗議し、経緯を記事で説明する。新聞社が認めた行為ではないと読者に理解してもらわないと、信頼にかかわるからだ。

新聞も、かつては情報を届けるだけの一方通行だった。最近はツイッターなどで読者と双方向のやりとりが欠かせない。選挙はどう変わるか。生徒会選挙にも影響しませんか。

（山）